

## 《理論と実践》不正調査の実務

## — 不正調査ガイドラインと事例の解説

日 時

2015年 9月11日 (金)  
10:00~16:00 (受付開始9:30)

会 場

法政大学 新一口坂校舎(東京都千代田区九段北 3-3-9)  
<http://www.im.i.hosei.ac.jp/contact/access/>  
市ヶ谷駅 (JR、有楽町線、南北線、都営新宿線) 徒歩 10 分  
飯田橋駅 (JR、東西線、有楽町線、南北線、都営大江戸線) 徒歩 10 分  
九段下駅 (東西線、半蔵門線、都営新宿線) 徒歩 15 分

概 要

近年、資産横領、粉飾決算、贈収賄等の不正行為、インサイダー取引、会社情報の漏洩等、さまざまな日本企業の不正・不祥事が連日のように報道されています。また、不正行為の発生箇所は、国内だけではなく海外にも及び、発覚するケースも内部監査や内部通報、規制当局の調査等を端緒とする場合などさまざまです。

不正リスクに対して企業がどのように対応していたかによって、その後の明暗が分かれることは周知の事実です。本研修会では、日本公認会計士協会が公表した「不正調査ガイドライン」と 実際に起きた事例の解説を通じて、不正調査の理論と実践を学ぶことを目的とします。

参加対象

経営マネジメント層、監査役、内部監査部門、コンプライアンス部門の管理者、担当者など、幅広い層の方を対象にしています。

参加費用

会員/賛助登録して頂いた方は初めて受講する研修の参加費用を無料とします。  
会員 年会費/年賛助金 10,000 円 参加費用 初回無料、2 回目以降 5,000 円  
非会員 参加費用 毎回 10,000 円

プログラム

- I. 不正調査ガイドライン
- 不正発覚時のクライシスマネジメント
  - 仮説検証アプローチの紹介
  - 不正調査の失敗事例にみる適切な対応策
- II. 不正事例にみる不正リスクマネジメント
- 日本企業における不正実態の分析
  - 不正事例の紹介
  - 不正防止・発見のポイント

講師 公認会計士 松澤 公貴 氏

受講証明

CIA、CFE、CISA 等に係る CPE 申請のための受講証明を発行します(6CPE)

申し込み

協会ホームページよりお申し込みください。 [https://ifra.jp/seminar\\_info/index.html](https://ifra.jp/seminar_info/index.html)